

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【公表番号】特表2008-529500(P2008-529500A)

【公表日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-031

【出願番号】特願2007-554332(P2007-554332)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	14/705	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	25/22	(2006.01)
A 6 1 P	25/24	(2006.01)
A 6 1 P	25/18	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/30	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	14/705	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	25/22	
A 6 1 P	25/24	
A 6 1 P	25/18	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	25/30	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月23日(2009.1.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号4のアミノ酸配列と少なくとも98%同一のアミノ酸配列を含む、単離された可溶性コルチコトロピン放出因子受容体2型(s C R F R 2)であって、該s C R F R 2は、コルチコトロピン放出因子受容体2型(C R F R 2)リガンドに結合する、s C R F R 2。

【請求項2】

アフィニティータグに結合されている、請求項1記載のs C R F R 2。

**【請求項 3】**

蛍光マーカーに結合されている、請求項 1 記載の s C R F R 2。

**【請求項 4】**

免疫グロブリンドメインに結合されている、請求項 1 記載の s C R F R 2。

**【請求項 5】**

前記免疫グロブリンドメインが免疫グロブリン Fc ドメインを含む、請求項 4 記載の s C R F R 2。

**【請求項 6】**

リーダー配列を含む、請求項 1 記載の s C R F R 2。

**【請求項 7】**

重合体にコンジュゲートされる、請求項 1 記載の s C R F R 2。

**【請求項 8】**

前記重合体がポリエチレングリコール (PEG) である、請求項 7 記載の s C R F R 2。

**【請求項 9】**

製薬上許容しうる担体に含まれる、請求項 1 に記載の s C R F R 2。

**【請求項 10】**

配列番号 4 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の s C R F R 2。

**【請求項 11】**

アフィニティータグに結合されている、請求項 10 記載の s C R F R 2。

**【請求項 12】**

蛍光マーカーに結合されている、請求項 10 記載の s C R F R 2。

**【請求項 13】**

免疫グロブリンドメインに結合されている、請求項 10 記載の s C R F R 2。

**【請求項 14】**

前記免疫グロブリンドメインが免疫グロブリン Fc ドメインを含む、請求項 13 記載の s C R F R 2。

**【請求項 15】**

リーダー配列を含む、請求項 10 記載の s C R F R 2。

**【請求項 16】**

重合体にコンジュゲートされる、請求項 10 記載の s C R F R 2。

**【請求項 17】**

前記重合体がポリエチレングリコール (PEG) である、請求項 16 記載の s C R F R 2

。

**【請求項 18】**

製薬上許容しうる担体に含まれる、請求項 10 に記載の s C R F R 2。

**【請求項 19】**

コルチコトロピン放出因子受容体 2 型 (CRFR2) の活性を低減するための組成物であって、有効用量の請求項 1 に記載の s C R F R 2 を含み、該組成物の投与により細胞表面 CRFR への CRFR リガンドの結合が低減される、組成物。

**【請求項 20】**

前記リガンドが、コルチコトロピン放出因子 (CRF)、ウロコルチン 1、ウロコルチン 2、ウロコルチン 3 又はストレスコピンである、請求項 19 記載の組成物。

**【請求項 21】**

コルチコトロピン放出因子受容体 2 型 (CRFR2) の活性を低減するための組成物であって、有効用量の請求項 10 に記載の s C R F R 2 を含み、該組成物の投与により細胞表面 CRFR への CRFR リガンドの結合が低減される、組成物。

**【請求項 22】**

前記リガンドが、コルチコトロピン放出因子 (CRF)、ウロコルチン 1、ウロコルチン 2、ウロコルチン 3 又はストレスコピンである、請求項 21 記載の組成物。